

平成25年度 事務事業評価調査 [ソフト事業]

事務事業コード

31121001

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名

登別観光振興特別対策事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	1	①広域連携による濃密な情報発信
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光振興グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	国内外に観光地「登別」の情報発信を行い、観光客の誘客促進を図り、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	登別観光協会が行う観光振興特別対策事業に対して、その要する経費の一部を補助した。 【誘客宣伝委員会事業】宣伝印刷物（周辺マップ、ガイドマップ）の作成、ホームページ等情報コンテンツの充実強化、観光客誘致宣伝の実施（道内、道外、海外）等 【まつりイベント委員会事業】「鬼火が誘う地獄の谷」の実施、第49回登別地獄まつりの実施、第42回登別温泉湯まつりの実施、カルルス温泉冬まつりの実施等 【環境整備委員会事業】バイパス及び泉源公園等の花卉植栽による景観形成、桜並木の整備及び温泉街の植樹事業、周辺道路および温泉街の美化清掃、イルミネーション、ライトアップの実施等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	引き続き、各種イベント・広告宣伝・誘客キャンペーン等を実施し観光客の増加を目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	41,900	41,900	41,900	41,900	41,900
事業費 合計			41,900	41,900	41,900	41,900	41,900

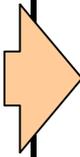
指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 観光客入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	2,661	2,845			
	② 宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,058	1,103			

比較 《 Check 》

<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <p>平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び福島第一原子力発電所事故による風評被害により激減した観光客は、秋以降回復の兆しを見せていたが、竹島・尖閣諸島の領土問題により、韓国・中国などからの観光客が再度激減した。</p> <p>また、平成24年11月に発生した市内大規模停電が全国的にニュースで流れたことよってマイナスイメージが広がった。</p>	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <p>これまで、東アジア（韓国、中国、台湾等）からの誘客を主体に取り組んでいたが、領土問題などの各種情勢変化による観光客減少のリスクを軽減するため、他団体が主催する東南アジアの国際旅行博出展事業に参加するなどの取り組みが行われた。</p> <p>また、停電のマイナスイメージを回避するため、登別市や旅行会社などと連携し、道内（旭川・札幌・函館）及び道外（東京・大阪）での緊急プロモーションが行われた。</p>
--	--



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及び他所見 登別観光協会が実施する当該事業を通じ、観光客の誘客を図るため、市が支援することは妥当である。
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある ② 市民アンケートの結果から必要性が高い ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及び他所見 観光産業は当市の基幹産業であり、経済波及効果が大きく裾野が広いことから必要性が高い事業である。
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及び他所見 国内外からの誘客を図るためには各種メディアへの掲載やプロモーション活動が必要であることから多額の経費を要するが、観光産業の振興を図るためには必要不可欠な事業と考える。
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる ② 市民、団体等の声から成果を感じられる ③ 目に見える形で成果があがっている ④ 成果の把握は困難である	判断理由及び他所見 東日本大震災の影響を受け減少した平成23年度の観光客数と比較すると、当年度は全道平均を上回る増加率を示しており、登別観光協会が実施した各種事業の効果があったものとする。

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	観光客の増加を図るためにも、事業の継続が必要である。
-----------	----------------------	----------------------------

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--